



羽村市立栄小学校
学校だよりNO.12
令和8年1月29日

心を磨く

副校長 山田 美佳

学校教育の中には「清掃活動」が組み込まれています。これは、世界でも珍しい日本独自の教育文化と言われています。

清掃活動には、たくさんの教育的価値（協調性、責任感、奉仕、勤労意欲、感謝など）が含まれていると考えられます。

毎日使っている教室などの清掃。

小学校に入学して10か月の1年生も、清掃がとても上手になりました。

最近あまり使うことがなくなってしまったほうきですが、使い方が上手になりました。

荷物の下や隅にたまっているごみにも意識して掃くことができるようになりました。

さらに難関の雑巾絞り。左右の手を逆にひねるといのは、なかなか難しいことですが、水をしっかり切ることができるようになりました。

このような成長は、1年生の力だけではありません。6年生が、入学したての5月、6月、そして慣れてきた頃の12月に一緒に清掃活動を行ってくれたおかげで、「こつ」や「やるべきこと」を学ぶことができました。

こうした清掃活動に関して、羽村市教育委員会の 儘田文雄教育長 ご自身が発行している「源流」(170号)には、清掃の教育的効果として、次の三つが挙げられています。

第一に、自主・自律の精神

清掃活動の意義は、自主とは、他からの指示を待たずに、なすべきことを自ら進んで行うこと。自律とは、自分の内にきまりを作り、それに従って行動することです。教師や級友から指示されることなく、自ら判断して清掃を行う児童・生徒は、日々の清掃活動を通して、自主・自律の精神を養っています。

第二に、勤労・奉仕の精神

勤労とは、仕事に励むこと。それを支える

のが勤勉です。勤勉とは、自己の精神を集中させようと努力することであり、仕事や勉強に没頭することです。

第三に、愛校の精神

日々の掃除は、学校への愛着や誇りはもとより、よりよい校風の樹立と発展に努めようとする意欲と態度を育みます。

清掃活動の教育的効果は、集中して取り組む子供たちの姿からも実感できます。ご家庭での掃除においても子供たちが定期的に活躍をする機会として、**自主・自律の精神、勤労の精神、家族愛の精神**を養うのはいかがでしょうか。

◆お知らせ◆

1月20日(火)から24日(土)までは、校内書写展が行われていました。

2学期末から冬休みと練習を重ねてきた成果が表れ、どの子の作品も丁寧にのびのびと書かれているな、と感じています。

24日(土)は、学校公開が行われ、多くの保護者の方々に来校していただきました。

子供たちの嬉しそうな、恥ずかしそうな顔が、微笑ましく感じました。

来月2月の学校公開は、14日(土)になります。

2校時(9時30分～)・3校時(10時35分～)の公開になります。1校時と4校時は、公開いたしませんのでよろしくお願いいたします。詳細は、今週、28日(水)に配布いたしましたお便りをご覧ください。

また、2月14日(土)～2月19日(木)まで、東京都公立学校美術展覧会が、上野の東京都美術館で行われます。

図画工作科の部門と書写部門へ栄小代表の児童の作品を出品しています。

今年度も残り30日余りとなります。1年のまとめをしっかりと行い、新しい学年を迎えられるようにしていきます。